

平成 30 年度ブロック研修会報告書

ブロック名 北関東・甲信越ブロック

平成 30 年度ブロック研修会の実施結果について、下記のとおり報告します。

研修テーマ	保健師活動の可視化及び質の向上に向けた取り組み
開催日時	平成 30 年 9 月 29 日 (土) 10 時 ~ 15 時 30 分
会場	名称：新潟市保健所 住所：新潟市中央区紫竹山 3 丁目 3 番 1 号
参加人数	(87 人) ※講師・発表者・運営役員・研究報告者を含む
研修の概要	<p>(1)会の活動方針説明 全国保健師長会 副会長 谷戸 典子 氏 (埼玉県狭山保健所副所長)</p> <p>(2)研究報告 「災害時の保健活動の活動推進に関する研究」 下妻市保健福祉部保健センター 森 陽子 氏</p> <p>(3)保健師活動実践報告 ・山梨県支部 「甲斐市版ネウボラ事業～妊娠期から子育て期に渡る切れ目ない支援」 山梨県甲斐市子育て健康部健康増進課 課長 長坂 千恵子 氏 ・新潟市支部 「特定保健指導未利用者訪問の実践報告～指導未利用の理由と今後の利用率向上に向けた取り組みについての考察」 新潟市中央区東地域保健福祉センター 辻澤 美桜 氏 ・群馬県支部 「前橋市認知症初期集中支援事業について～前橋市における認知症施策の取り組み」 前橋市長寿包括ケア課 中島 敦子 氏 ・茨城県支部 「茨城県保健師人材育成指針改定を通じた県・市町村・大学の連携による取り組み」 茨城県保健福祉部健康長寿福祉課 大竹 美記 氏</p> <p>(4)グループワーク (情報交換会) テーマ「キャリアラダーの効果的な活用について」</p>
参加者の感想など	<p>各支部から提出された 13 題の活動実践報告の中から、母子、生活習慣病予防、介護予防、人材育成それぞれのテーマを各 1 題選定し、発表。また、グループワークでは、第 1 回目の支部長会議の中で、キャリアラダーを作成している支部は多いものの、有効な活用には至っていないとの意見が多かったため、実践報告をしていただいた茨城県の取り組みをもとに各支部の情報交換を実施。 参加者アンケートの結果、95%以上が参考になったと回答。 保健師長会の活動方針、研究報告の報告については、保健師長会の全体の動きがわかり保健師活動の幅広さを実感した、改訂されたマニュアルを理解して動けるよう平時から各自自治体で話し合っておく必要性を感じたなどの意見があった。 活動実践報告については、先駆的な活動に元気をもらった、自身の担当以外の</p>

業務についても学ぶ機会の必要性を感じたなどの意見があった。

グループワークにおいても「キャリアラダー」の活用について参考となった、キャリアラダーは「なりたい保健師」を明確化するための手法であることが理解できたなど、活用についてこれまで後ろ向きであったが今後積極的に使っていきたいとの声が多かった。